

---

1	沿 革	1
2	位置・面積	1
3	市域の変遷	2
4	合併の概要	3
5	高松の移り変わり	3
6	世帯と人口	5
7	人口動態	6
8	産業別15歳以上就業者数	6
9	都市宣言等	7
10	都市提携	7

## 1 沿革

「高松」は鎌倉時代、大覚寺の荘園になったころから開け始め、天正15年に豊臣秀吉が生駒親正を讃岐に封じ、翌16年に玉藻浦に居城を築いて高松城と名づけたことに始まる。これが現在の高松という地名の由来と言われ、以後城下町として発展することになった。生駒氏が4代54年間続いた後、寛永19年、松平頼重（水戸光圀の兄）が常陸国より封ぜられ、領内の産業開発に努めた結果、町は次第に繁栄し、また、幕府の親藩として中四国一円の監察を託されていたところから、政治的にも重要な地位を占めるに至った。その後、松平家は11代220年続き、明治維新を迎えた。

廃藩置県後、数回にわたる行政区画の変遷を経て、香川県庁の所在地となり、明治23年2月15日市制をしき、全国で40番目の市としてスタートした。この年の人口は、33,863人、戸数6,356戸、市の年間予算4,800円、職員数は市長を含めて14人であったという。

明治も末頃になると、丸亀まで鉄道が延び、市が最初の事業として手がけた港湾工事が完成、ようやく近代化への動きが見え始め、43年には、高松—宇野間に連絡船が就航、人口も44,500人に増え、さらに大正3年からの9年間で周辺の3か村を編入し、市域が約3倍になり、近代化への基礎が固まった。

昭和に入ってから、教育・文化・観光・商工業の振興に力を注ぎ、昭和3年、市庁舎（もとの1号館）が完成、高松一中（現在の高松一高）の開校、全国産業博覧会の開催など、観光文化都市としての基礎を固め、15年2月、2回目の大合併で周辺5か町村を編入して市域は53km<sup>2</sup>、人口は12万人を数えるに至ったが、20年7月4日未明の空襲で旧市内の80%が焼失、約85,000人が被災した。幸い、港湾施設や高松駅舎は被害を免れたため、海陸の主要交通がいち早く回復し、さらに、戦災後すぐに着手した復興事業も官民一体の努力で順調に進み、市街地の道路は碁盤の目のように整備された。

また、31年には、隣接15か町村との大合併に踏み切り、人口は一挙に20万人を超え、41年には、豊富な水資源を持つ山田町と合併、市域は193km<sup>2</sup>、人口は約26万人となり、54年には新庁舎も完成、55年の国勢調査では人口が30万人を超えた。

さらに、平成17年9月26日には塩江町と、18年1月10日には牟礼町、庵治町、香川町、香南町及び国分寺町と合併し、北は瀬戸内海、南は徳島県境までを市域とし、人口42万人を擁する「新・高松市」が誕生した。

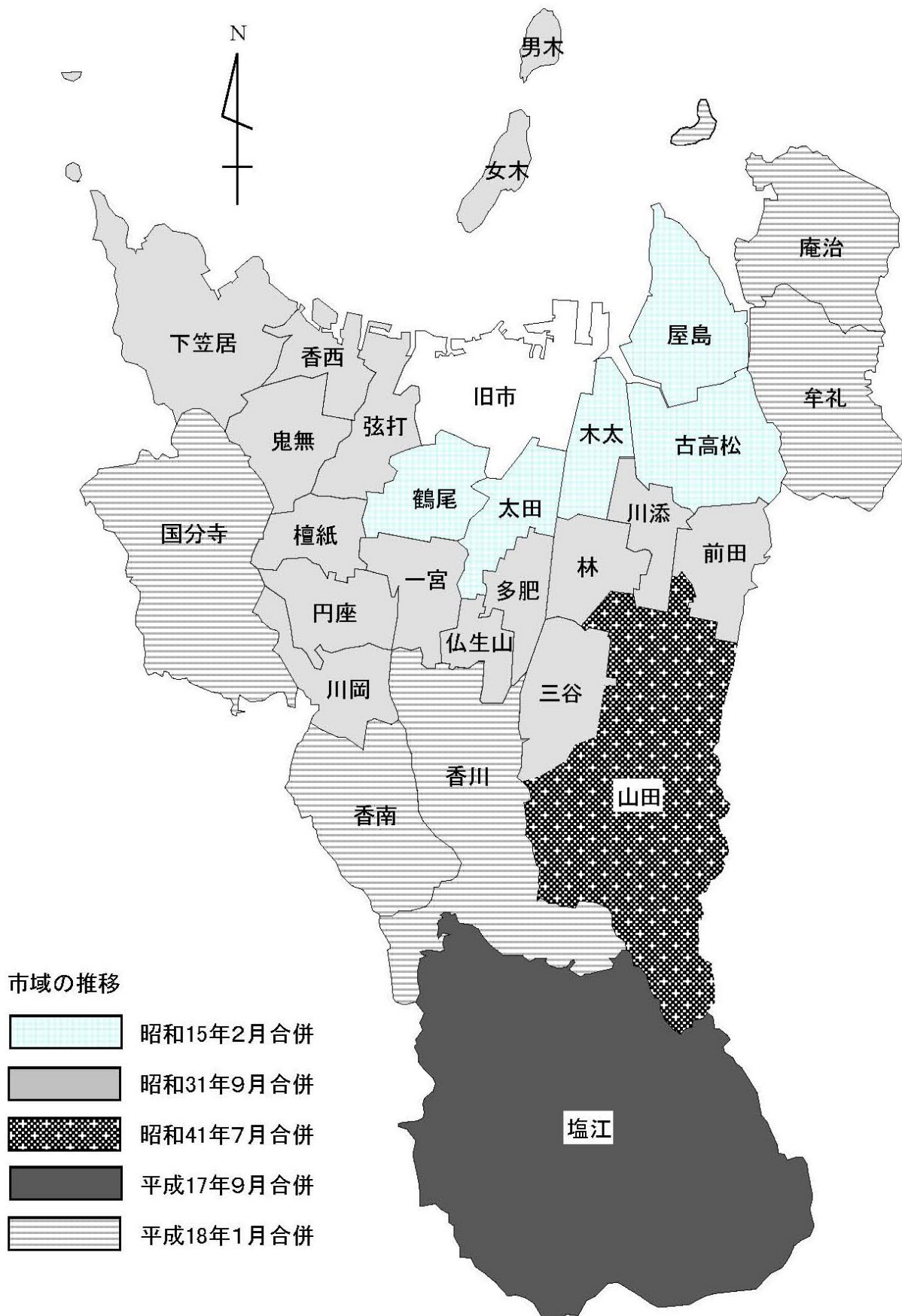
また、国の「定住自立圏構想」に基づき、22年1月14日には土庄町、小豆島町、三木町、直島町、綾川町と、24年4月13日にはさぬき市、東かがわ市と瀬戸・高松広域定住自立圏の形成に関する協定を締結し、圏域住民の生活関連機能サービスの向上に取り組んできたが、経済成長の牽引、高次都市機能の集積・強化にも取り組むため、28年2月16日に、国が進める新たな広域連携制度である「連携中枢都市圏」へと発展的に移行している。

## 2 位置・面積

(6.4.1 現在)

位置	東経 134° 02'	北緯 34° 20'	面積	375.67km <sup>2</sup>
広ぼう	東西 23.6km	南北 35.9km		

### 3 市域の変遷



#### 4 合併の概要

区分	合併年月日	関係町村名	面積 (km <sup>2</sup> )	世帯 (世帯)	人口 (人)
第1次合併	大正 3年 5月 1日	宮脇村	2.73	616	3,750
" 2 "	10年 1月 1日	東浜村	2.27	1,679	7,085
" 3 "	11月 1日	栗林村	1.94	1,654	7,574
" 4 "	昭和15年 2月11日	屋島町	10.41	1,153	5,508
		古高松村	12.83	905	4,888
		木太村	5.81	648	3,371
		鷺田村	8.16	1,396	7,472
		太田村	6.02	906	4,745
境界変更	29年 4月 1日	一宮村大字鹿角字下川原の一部	0.63	—	—
第5次合併	31年 9月30日	前田村	6.11	786	4,004
		川添村	4.51	749	3,899
		林村	5.80	698	3,652
		三谷村	8.64	597	3,185
		多肥村	4.04	615	3,238
		仏生山町	2.79	1,222	5,738
		一宮村	6.27	1,050	5,528
		円座村	5.01	886	4,549
		檀紙村	7.64	1,040	5,512
		川岡村	5.51	724	3,775
		弦打村	6.85	916	4,550
		上笠居村	6.98	949	4,889
		香西町	4.06	1,257	6,161
		下笠居村	18.77	1,227	6,568
		雌雄島村	3.97	438	2,026
境界変更	33年 4月 1日	香川町大字寺井の一部	0.63	90	368
第6次合併	41年 7月 1日	山田町	40.86	3,067	14,272
境界変更	58年 4月 1日	綾南町大字畑田字奈良須の一部	0.01	—	—
第7次合併	平成17年 9月26日	塩江町	80.10	1,258	3,484
	18年 1月10日	香川町	27.33	8,349	24,385
		国分寺町	26.25	8,330	24,250
		香南町	14.72	2,459	7,914
		庵治町	15.83	2,063	6,259
		牟礼町	16.48	6,503	18,208

#### 5 高松の移り変わり

明治23年	市制施行	昭和32年	世界連邦都市を宣言
30年	高松築港工事着手	36年	高松市民会館完成
43年	高松一字野間に連絡船が通う		セント・ピーターズバーグ市 (アメリカ) と姉妹都市提携
大正 3年	宮脇村を高松市に合併		交通安全都市を宣言
	高松市水道工事に着手	37年	彦根市と姉妹都市提携
10年	東浜村と栗林村を高松市に合併	41年	木田郡山田町を高松市に合併
13年	高松市役所全焼	42年	高松市中央卸売市場開場
昭和 3年	高松市役所旧庁舎完成	43年	高松市衛生処理センター操業開始
11年	高松市葬斎場を福岡町に新築	45年	清掃工場操業開始
15年	屋島町、鷺田・太田・木太・古高松村を高松市に合併	47年	市民文化センター開館
16年	太平洋戦争開始	48年	第1次高松市総合計画策定
20年	高松空襲を受ける		異常渇水のため第3次給水制限
22年	日本国憲法・地方自治法施行		高松地区広域市町村圏振興事務組合発足 (1市10町)
23年	高松市立図書館開館	49年	水戸市と親善都市提携
24年	高松市立美術館・体育館開館	50年	市民プール完成
25年	競輪場完成	54年	高松市役所新庁舎完成
28年	第8回国民体育大会開催		環境美化都市を宣言
31年	15カ町村を高松市に合併		

昭和55年	高松市民のねがい制定	平成18年	香川町・国分寺町・香南町・庵治町・牟礼町を高松市に合併
56年	高松市中央卸売市場施設整備事業完成		高松地区広域市町村圏振興事務組合解散
	高松市水道局庁舎完成		地区公民館をコミュニティセンターへ移行
	第2次高松市総合計画策定		地域包括支援センター設置
57年	電子計算組織始動	19年	香川図書館オープン
	高松市総合福祉会館完成		道の駅「源平の里むれ」オープン
	東部下水処理場一部完成	20年	第5次高松市総合計画策定
58年	「黒松」を市木に、「つつじ」を市花に制定		朝日新町学校給食センター完成
	峰山公園開園	21年	異常渇水のため第5次給水制限
59年	非核平和都市を宣言	22年	純愛の聖地庵治・観光交流館開館
61年	中央公園開園		瀬戸・高松広域定住自立圏の形成に関する協定合同調印（1市5町）
	総合体育館完成		高松市自治基本条例施行
62年	西部クリーンセンター完成		施設一体型小中一貫教育校（高松第一学園（愛称））完全開校
	台風19号による大規模な災害が発生		瀬戸内国際芸術祭2010開催
63年	本州四国連絡橋児島一坂出ルート開通		市制120周年記念式典を挙行
	トゥール市（フランス）と姉妹都市提携	23年	定期チャーター便高松ー上海間就航
	新美術館開館		アジア太平洋盆栽水石高松大会開催
	第3次高松市総合計画策定	24年	市民文化センター閉館
平成元年	新高松空港開港		瀬戸・高松広域定住自立圏の形成に関する協定合同調印（さぬき市と東かがわ市の2市と新たに調印）
2年	番町地下広場完成		四番丁スクエアオープン
	南昌市（中国）と友好都市提携	25年	瀬戸内国際芸術祭2013開催
	市制100周年記念式典を挙行		定期航空便高松ー台北線就航
4年	斎場公園開園		国分寺ホールオープン
	四国横断自動車道高松ー善通寺間開通		下野市と歴史文化交流都市提携
	国際定期路線高松ーソウル間就航		金沢市と文化・観光交流都市提携
	サンクリスタル高松開館	26年	東部運動公園全面オープン
5年	人権尊重都市を宣言		第4回日仏自治体交流会議開催
	第48回国民体育大会開催	27年	中核市サミット2014開催
	高松テルサ開館		公文書館開館
6年	保健センター開館		市民交流プラザIKODE瓦町オープン
	夜間急病診療所開設	28年	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の形成に係る連携協約合同調印（3市5町）
	異常渇水のため第3次給水制限		第6次高松市総合計画策定
7年	女性センター・錦町会館開館		瀬戸内国際芸術祭2016開催
	リサイクルプラザ開館		高松市美術館リニューアルオープン
	平和記念室開館		G7香川・高松情報通信大臣会合開催
9年	男女共同参画都市を宣言		たかまつミライエオープン
11年	中核市に移行	29年	総合センター開設（牟礼・香川・勝賀・国分寺）
	ふれあい福祉センター勝賀開館		高松市屋島競技場リニューアルオープン
	矢島町（現由利本荘市）と友好都市提携		基隆市（台湾）と交流協定締結
	食肉センター開所	30年	香川県広域水道企業団発足
12年	新・高松市総合計画策定		高松空港の運営の民間委託開始
13年	ボランティア・市民活動センター開所		防災合同庁舎（危機管理センター）完成
	四国横断自動車道高松中央ー板野間開通		屋島スカイウェイ（市道屋島東町38号線）の供用開始
	サンポート高松一部オープン		りんくうスポーツ公園共用開始
	保健所完成		高松市立みんなの病院開院
	I SO14001認証取得		中枢中核都市として選定
14年	生涯学習センター開館	令和元年	瀬戸内国際芸術祭2019開催
15年	高松自動車道全線開通	2年	六条町学校給食センター開設
	南部広域クリーンセンター完成		新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延
	環境プラザリニューアルオープン		ゼロカーボンシティを宣言
16年	サンポート高松ランドオープン		
	文化芸術ホール開館		
	台風・高潮による未曾有の災害発生		
	第24回全国豊かな海づくり大会開催		
17年	異常渇水のため第3次給水制限		
	塩江町を高松市に合併		

令和4年	仏生山交流センター開館 総合センター開設（仏生山） 瀬戸内国際芸術祭2022開催 史跡高松城跡桜御門復元 屋島山上交流拠点施設開館	5年	G7香川・高松都市大臣会合開催
		6年	総合センター開設（山田） 高松市東京事務所開設

## 6 世帯と人口

(単位：世帯、人)

年次	区分	世帯数	人口		
			総数	男	女
大正	9年	30,704	144,869	71,411	73,458
	14年	32,658	156,792	78,299	78,493
昭和	5年	34,517	168,943	84,728	84,215
	10年	36,113	177,770	88,406	89,364
	15年	35,855	175,145	85,741	89,404
	22年	41,151	188,317	91,345	96,972
	25年	44,114	210,350	102,502	107,848
	30年	48,985	228,553	110,742	117,811
	35年	57,897	243,538	117,075	126,463
	40年	67,460	257,716	123,578	134,138
	45年	78,565	274,367	131,304	143,063
	50年	90,627	298,999	144,365	154,634
平成	55年	101,378	316,661	153,397	163,264
	60年	107,356	326,999	158,279	168,720
	2年	114,809	329,684	159,311	170,373
	7年	123,457	331,004	160,451	170,553
	12年	131,370	332,865	161,378	171,487
	17年	137,944	337,902	163,509	174,393
	22年	174,278	419,429	203,312	216,117
令和	27年	182,047	420,748	205,049	215,699
	2年	187,511	417,496	202,029	215,467

※ 各年次とも国勢調査の数値（平成12年以前は同年10月1日現在の市域、17年は旧塩江町域を含む同年10月1日現在の市域、22年以降は合併後の庵治町・牟礼町・香川町・香南町・国分寺町域を含む現在の市域）により表章している。

## 7 人口動態

(単位：人)

区分		年次				
		元	2	3	4	5
自然動態	出生	3,200	3,116	3,076	2,956	2,731
	死亡	4,535	4,589	4,580	5,234	5,341
	増減	△1,335	△1,473	△1,504	△2,278	△2,610
社会動態	転入	15,217	13,836	13,283	14,743	14,232
	転出	15,034	13,228	13,617	14,464	14,329
	増減	183	608	△334	279	△97
年度間増減		△1,152	△865	△1,838	△1,999	△2,707

※ 表中の△はマイナスを示す。

## 8 産業別15歳以上就業者数

(令和2年国勢調査)

区分	就業者数(人)	構成比(%)	区分	就業者数(人)	構成比(%)
総数	192,900	100.0	第3次産業	145,974	75.6
第1次産業	4,463	2.3	F 電気・ガス・熱供給・水道業	1,940	1.0
A 農業、林業 (うち農業)	4,126 (4,047)	2.1 (2.1)	G 情報通信業	4,615	2.4
B 漁業	337	0.2	H 運輸業、郵便業	9,525	4.9
第2次産業	36,183	18.8	I 卸売業、小売業	34,584	17.9
C 鉱業、採石業、砂利採取業	74	0.1	J 金融業、保険業	5,950	3.1
D 建設業	15,032	7.8	K 不動産業、物品賃貸業	4,480	2.3
E 製造業	21,077	10.9	L 学術研究、専門・技術サービス業	6,448	3.3
			M 宿泊業、飲食サービス業	10,460	5.4
			N 生活関連サービス業、娯楽業	6,430	3.3
			O 教育、学習支援業	10,525	5.5
			P 医療、福祉	28,097	14.6
			Q 複合サービス事業	1,936	1.0
			R サービス業（他に分類されないもの）	12,300	6.4
			S 公務（他に分類されるものを除く）	8,684	4.5
			T 分類不能の産業	6,280	3.3

## 9 都市宣言等

昭和32年11月18日	世界連邦都市宣言	昭和59年12月24日	非核平和都市宣言
37年2月20日	交通安全都市宣言	平成5年3月24日	人権尊重都市宣言
54年9月19日	環境美化都市宣言	9年12月18日	男女共同参画都市宣言
55年9月25日	高松市民のねがい	令和2年12月3日	ゼロカーボンシティ宣言

## 10 都市提携

### (1) 海外都市

#### ア 姉妹都市

(ア) セント・ピーターズバーグ市（アメリカ合衆国 フロリダ州）

昭和36年10月5日都市提携

(イ) トゥール市（フランス共和国 アンドル・エ・ロワール県）

昭和63年6月3日都市提携

#### イ 友好都市

南昌市（中華人民共和国 江西省）

平成2年9月28日都市提携

#### ウ 交流都市

基隆市（台湾）

平成29年5月1日都市提携

### (2) 国内都市

#### ア 姉妹城都市

彦根市（滋賀県）

昭和41年8月15日都市提携

#### イ 親善都市

水戸市（茨城県）

昭和49年4月13日都市提携

#### ウ 友好都市

由利本荘市（秋田県 旧矢島町）

平成11年10月27日都市提携

#### エ 歴史文化交流都市

下野市（栃木県）

平成25年6月29日都市提携

#### オ 文化・観光交流都市

金沢市（石川県）

平成25年10月28日都市提携

※ ア～オの各都市との間に災害時における相互支援協定を締結している。